棚田オーナー
柿木小学校６年生による田植え

５月２３日（金）棚田オーナーである柿木小学校６年生の田植えを開催しました。絶好の田植え日和で、楽しそうな児童の声に誘われて顔を覗かせたイモリやヘビなどと戯れながら、賑やかな田植えとなりました。農家の田村さんが目印に引いた線をたどりながら、水が濁らないようにゆっくりとした足取りで一つ一つ丁寧に植えていました。昨年に比べ児童が少なくなったということで小さな圃場に変更しましたが、児童も時間を気にせずにゆっくりと余裕をもって作業できたようでした。田植えの後は「助はんどうの会」の由来になった“はんどう（みずがめ）”の見学に行き、田村さんに昔の大井谷の暮らしや棚田の歴史、食べるということのお話をしてもらって、棚田についての知識を深めました。小さい子どもの少ない大井谷にもこの日は賑やかな声が響き渡りました。

柿木小学校は、平成１２年からオーナーになっており、地域の文化や伝統を学び継承するということを目的に、毎年６年生が田植え、草取り、稲刈りをとおして大井谷の棚田について勉強してくれています。